

第1学期 終業式式辞

夏休み前から、夏真っ盛りのように暑い毎日が続いています。そのような中で、大きな事故がなく1学期を終えることができ嬉しく思います。

式辞として、大きく三つのこととお話しします。

一つ目は、夏休みは「お池にはまらない」ように過ごすことが大事と言われます。

お池のおは「お坊さん」の世話にならないように「命を大事にする」ことです。

いは「医者」の世話にならないように「体調管理に気をつける」ことです。

けは「警察」の世話にならないように「悪いことをしない」ことです。

生命を大切にして、毎日規則正しく過ごしてください。そして、誘惑に負けないで、悪いことをしないように過ごしてください。

次に、二つ目です。

始業式で「拳手」「拍手」「握手」についてお話ししました。それぞれについて振り返ってみます。

私は、「拍手」は大変よくできましたの評価です。毎日の活動に一生懸命に取り組むみんなの姿に感激し、拍手しています。続いて、「拳手」は、もう少しです。自分から進んでいろいろなことに取り組むことがもっとできると思っています。

そして「握手」は、もっともっと頑張ってもらいたいです。例えば、友だちのいいところを認めて、相手の気持ちを考えて仲良くすることがもっともってできてほしいと願っています。2学期は、誰かのために思いやりの姿勢を表して、行動してください。

最後の三つ目です。

この言葉「なんくるないさあ」は知っていますね。どんな意味ですか。沖縄の言葉で「なんとかなるさ」を表す言葉です。実は、昨日ある新聞を読んでいたら、この言葉の前に「まくとーそーけー」という言葉が付くというのが分かりました。この言葉は「頑張っていれば」「正しい道を歩む努力をしていたら」を表しています。

「まくとーそーけー、なんくるないさあ」、「頑張っていれば、なんとかなるさ」

「正しい道を歩む努力をしていたら、なんとかなるさ」になります。

今日、1学期の学習や生活の様子を表した通信票が渡されます。先生方がみんなひとりひとりに2学期はこれを頑張ってもらいたいという思いが込められています。

さあ、2学期に向けて「まくとーそーけー、なんくるないさあ」

以上で1学期終業式の式辞とします。

<終業式での児童生徒代表の挨拶>



佐藤樹君



橋本大空君



菊池恵佳さん



小川朋希君